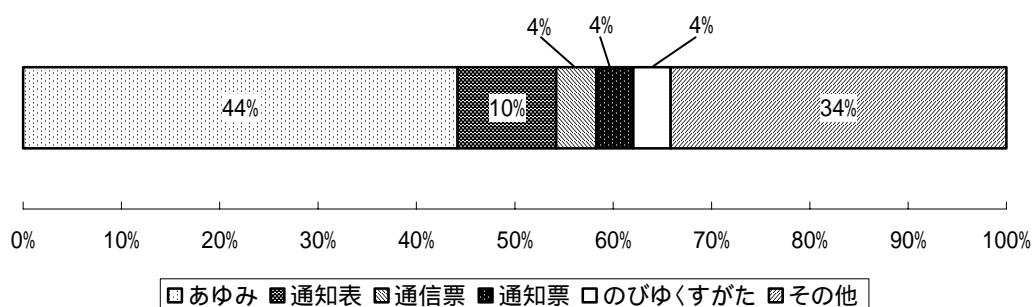


# I 小学校の通信簿の分析結果

- 
- 
- 1 通信簿の名称
  - 2 通信簿の判型, ページ
  - 3 「各教科の学習の記録」欄－第2学年－
  - 4 「各教科の学習の記録」欄－第5学年－
  - 5 「総合的な学習の時間の記録」欄
  - 6 「特別活動の記録」欄
  - 7 「行動の記録」欄
  - 8 所見・通信等の欄
  - 9 「出欠の記録」欄
  - 10 その他
- 
-

## 1 通信簿の名称



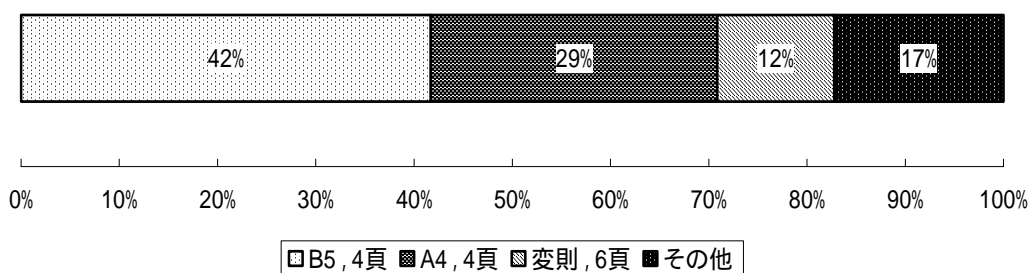
n=319

\*副タイトルは集計の対象にしない。  
\*ひらがなと漢字の表記の差異は区別しない。

通信簿の表紙に掲げられている名称では、「あゆみ」という名称が44%と最も多く、次いで「通知表」が10%となっている。「通信票」「通知票」「のびゆくすがた」はいずれも4%である。「その他」は「のびゆく子」が3%、「学びのたより」「通信簿」「こどものすがた」「かがやき」などがそれぞれ2%となっている。

また、通信簿の名称にどのような言葉を用いているか、副タイトルも含めると、「あゆみ」という言葉を含む名称が46%、「のびゆく」又は「のびる」を含む名称は12%となっている。地名や地域名、学校名を含む名称は8%であり、具体的には「～っ子」や「～の子」の「～」の部分に地名などが入る。

## 2 通信簿の判型， ページ



n=319

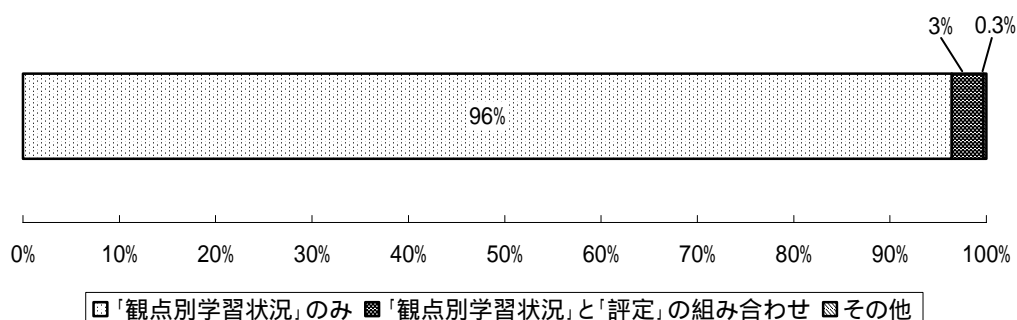
\*判型は折りたたまれている状態のものを示す。  
\*ページ数は表紙，裏表紙を含む。

通信簿の判型及びページは、B4を半分に折りたたむもの（B5判，4ページ）が42%と最も多く、次いで多いのがA3を半分に折りたたむもの（A4判，4ページ）で29%である。B4やA3を三つ折りにするもの（変則，6ページ）は12%となっている。「その他」には2冊で1つのセットになっているものなどがある。

### 3 「各教科の学習の記録」欄—第2学年—

#### (1) 「各教科の学習の記録」欄の構成と名称

##### ① 構成（「観点別学習状況」欄及び「評定」欄の有無）

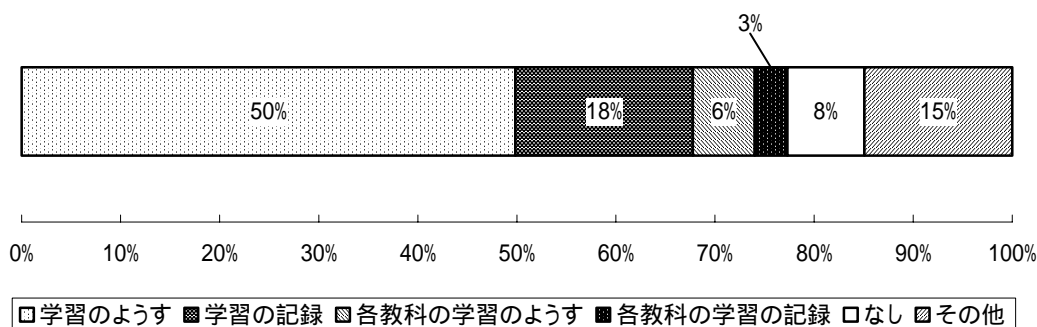


n=335

「各教科の学習の記録」欄は、小学校第2学年のすべての通信簿において設定されている。また、その99%において「観点別学習状況」欄が設定されている。これとともに「評定」欄を設けているものはわずか3%である。

なお、「その他」と示される通信簿は1例ではあるが、児童の自己評価と教師による所見で評価を行うように欄を設定している。

##### ② 名称

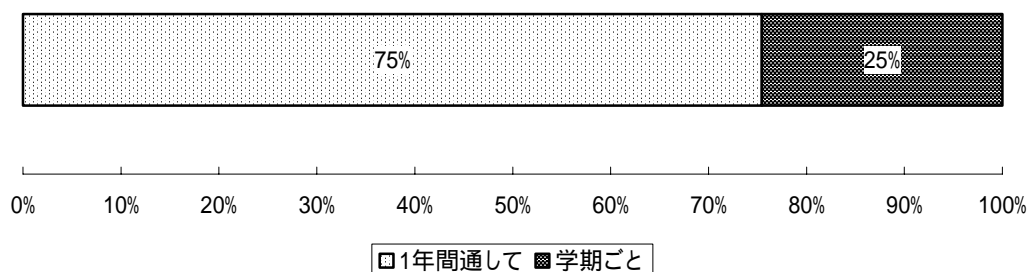


n=335

\*副タイトルは集計の対象にしない。  
\*ひらがなと漢字の表記の差異は区別しない。

小学校第2学年の通信簿における「各教科の学習の記録」欄の名称では、「学習のようす」が50%と最も多く、「各教科の学習のようす」を含めると56%となる。次いで「学習の記録」が18%で、「各教科の学習の記録」を含めると26%となる。

(2) 「観点別学習状況」欄  
① 観点の表示欄の設定

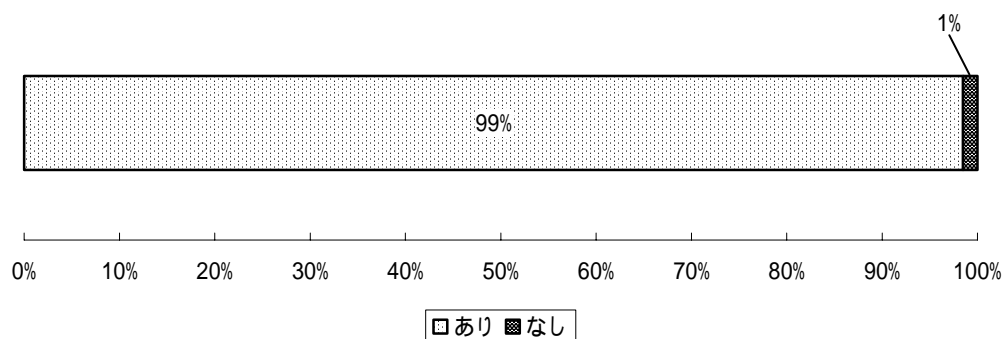


n=334

小学校第2学年の通信簿において、1年間通して同じ観点を表示しているものと、学期ごとに観点の内容を変えて表示しているものがあり、前者は75%、後者は25%である。

なお、ここで観点とは「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」などで表されているものや文章で表されているものを指している。

② 文章による観点の表示

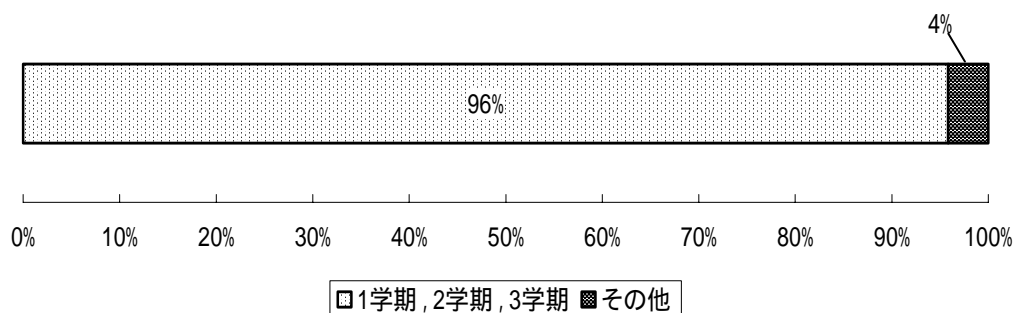


n=334

小学校第2学年の通信簿において、観点を文章で表示している通信簿は99%である。

なお、観点を文章で表示しているものの中には、㊦詳しく文章で観点を示しているものと、㊧観点を簡潔に「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」などとし、これについて説明しているものがある。

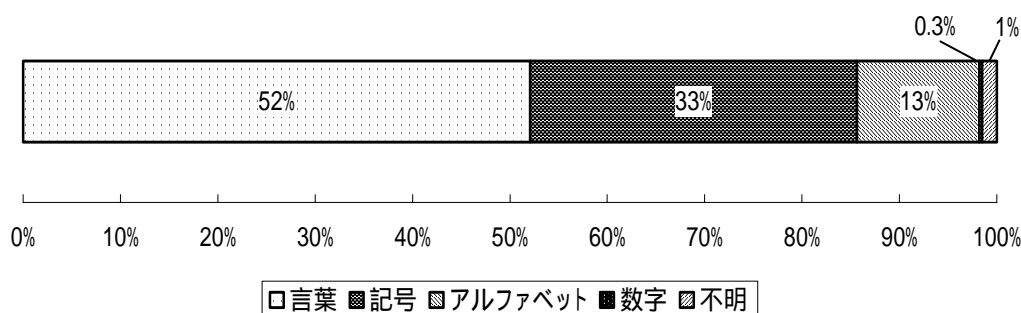
### ③ 学期ごとの評価欄の有無



n=334

小学校第2学年の「観点別学習状況」の評価欄で、1学期、2学期、3学期というように欄を設定しているものは96%である。「その他」は、1学期（前期）、2学期（後期）、学年末とする場合や1学期（前期）と2学期（後期）とする場合などである。

### ④ 評価の表示



n=334

小学校第2学年の通信簿では、「観点別学習状況」の評価を「よくできる、できる、がんばろう」や「よくできる、できる、もう少し」のように言葉で表す場合が52%と最も多く、次いで記号で表す場合が33%で、「◎、○、△」や「②、◎、○」、そして「○」と空欄を用いる場合などである。アルファベットで表すものは13%となっている。

なお、記号で最も多いのが「◎、○、△」と表す場合で25%である。アルファベットで表す場合はすべて「A、B、C」である。言葉で最も多いのが「よくできる、できる、がんばろう」で全体の6%となっている。

また、「観点別学習状況」の評価の段階については、3段階によるものが88%、2段階によるものが10%となっている。4段階や5段階によるものは1%以下である。

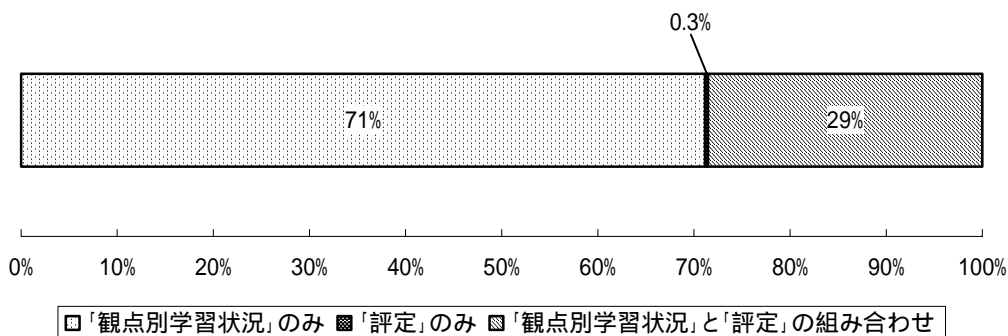
### (3) 「評定」欄

小学校第2学年の通信簿で「評定」欄を設けているのは全体の3%である。評定の表示には「3、2、1」や「A、B、C」や「よくできる、できる、がんばろう」などがあり、すべて3段階で表されている。

## 4 「各教科の学習の記録」欄—第5学年—

### (1) 「各教科の学習の記録」欄の構成と名称

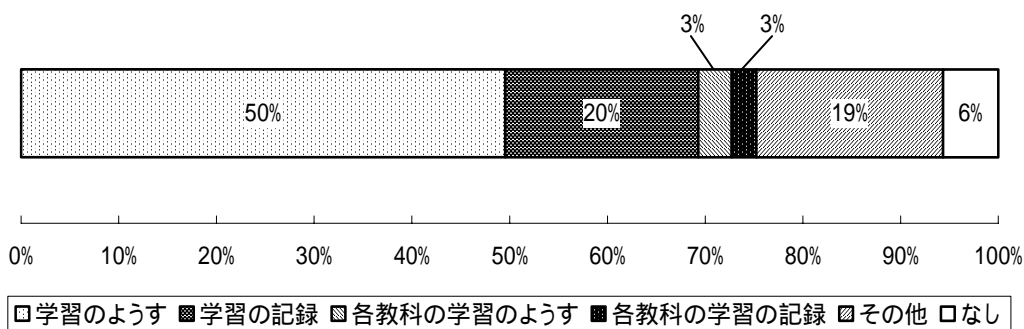
#### ① 構成（「観点別学習状況」欄及び「評価」欄の有無）



n=319

小学校第5学年の「各教科の学習の記録」欄について、「評価」欄だけで構成されている通信簿はわずか1例だけで、それ以外のものには「観点別学習状況」欄がある。「観点別学習状況」欄だけで構成されているものは71%、これに「評価」欄を組み合わせているものが29%となっている。

#### ② 名称



n=319

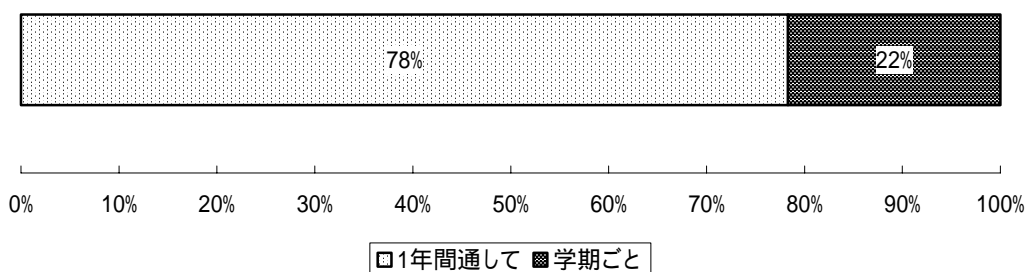
\*副タイトルは集計の対象にしない。  
\*ひらがなと漢字の表記の差異は区別しない。

小学校第5学年の「各教科の学習の記録」欄の名称では「学習のようす」が50%と最も多く、「各教科の学習のようす」とあわせると53%である。次いで「学習の記録」が20%であり、「各教科の学習の記録」とあわせると23%である。

なお、「各教科の学習の記録」欄の名称の末尾については、「学習のようす」「観点別の学習のようす」「各教科学習の様子」などのように、「～のようす」となっているものが67%であり、「学習の記録」「各教科の学習の記録」「教科の記録」などのように、「～の記録」となっているものが25%である。また、「～のめあて」や「～のねらい」となっているものが5%であり、「学習のめあて」「学習のねらい」などがある。

## (2) 「観点別学習状況」欄

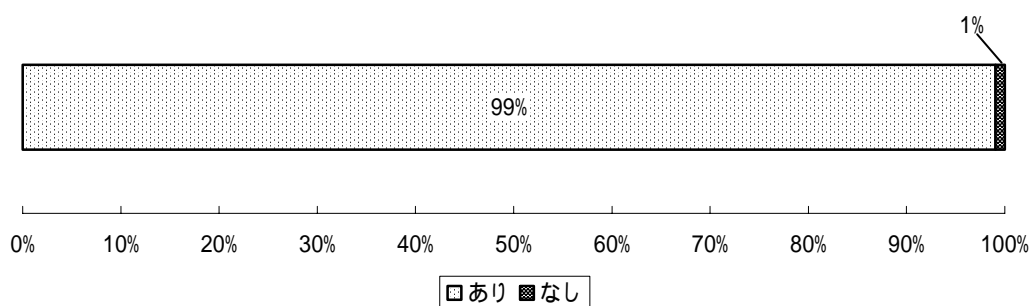
### ① 観点の表示欄の設定



n=318

小学校第5学年の「観点別学習状況」欄において、1年間通して同じ観点を表示しているものと、学期ごとに観点の内容を変えて表示しているものがあり、前者は78%であり、後者は22%となっている。

### ② 文章による観点の表示

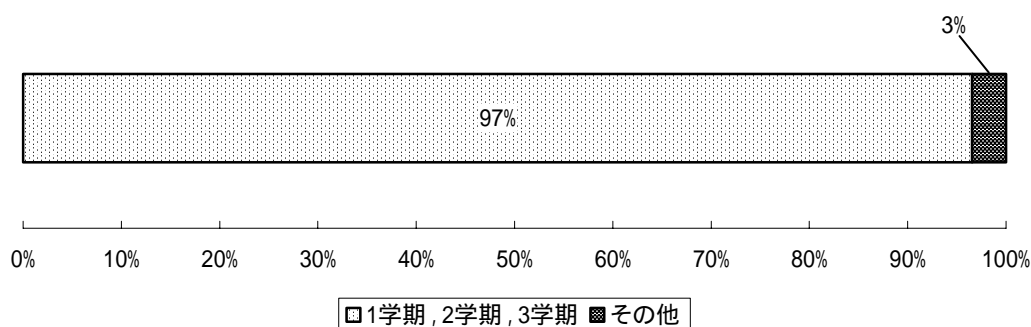


n=318

小学校第5学年の「観点別学習状況」欄で観点の趣旨を文章で表示している通信簿は99%である。

なお、観点を文章で表示しているものには、㊦詳しく文章で観点を示しているものと、㊧観点を簡潔に「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技術・表現」「知識・理解」などとし、これについて説明しているものがある。

### ③ 学期ごとの評価欄の有無

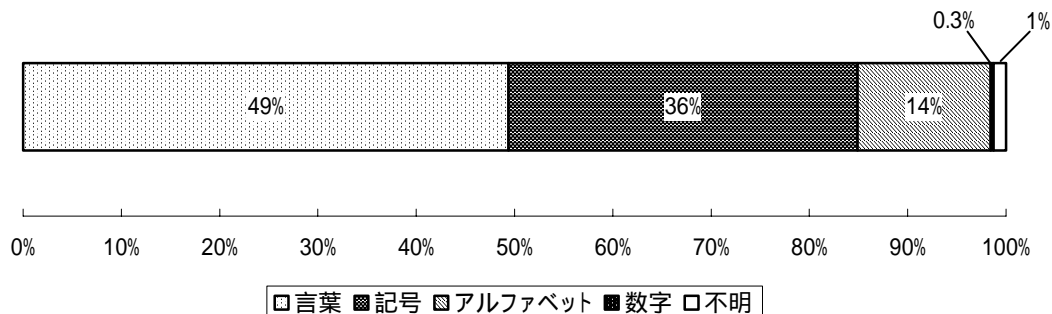


n=318

\*教科により評価欄の設定が異なる場合は、教科数の多い方で集計する。

小学校第5学年の「観点別学習状況」の評価欄について、1学期、2学期、3学期と欄を設定しているものは97%である。「その他」は1学期（前期）、2学期（後期）、学年末とする場合や1学期（前期）と2学期（後期）とする場合、1学期、2学期、3学期、学年末とする場合などである。

### ④ 評価の表示



n=318

小学校第5学年の「観点別学習状況」の評価の表示では、「よくできる、できる、もう少し」や「よくできる、できる、がんばろう」などのように言葉で表す場合が最も多く49%である。次いで「◎、○、△」や「◎、◎、○」、そして「◎、○、空欄」などのように記号で表す場合が36%である。アルファベットで表す場合は14%となっている。

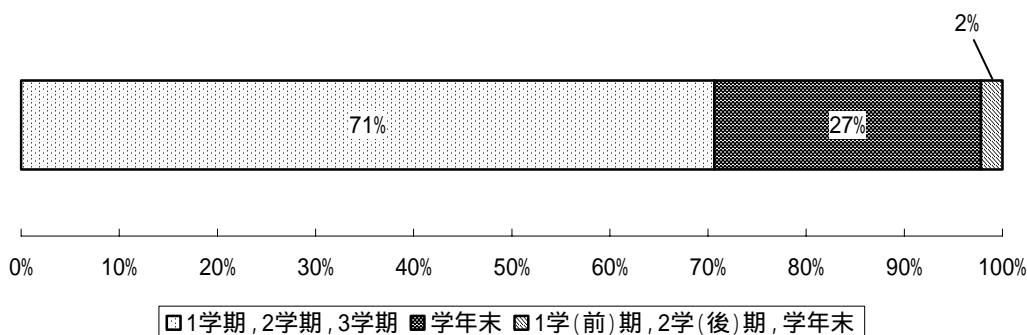
なお、記号で最も多いのが「◎、○、△」の26%である。アルファベットで表す場合はすべて「A、B、C」である。言葉で最も多いのが「よくできる、できる、もう少し」が7%である。

また、評価の段階については、3段階のものが95%、2段階のものが3%である。4段階及び5段階によるものは1%以下である。



### (3) 「評定」欄

#### ① 学期ごとの評定欄の有無

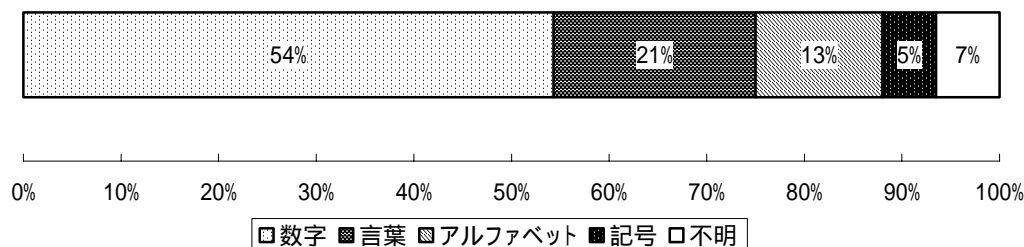


n=92

\*教科により評定欄の設定が異なる場合は、教科数の多い方で集計する。

小学校第5学年において評定欄を1学期、2学期、3学期と設定している場合が71%と最も多い。学年末にのみ設定している場合は27%である。

#### ② 評定の表示



n=92

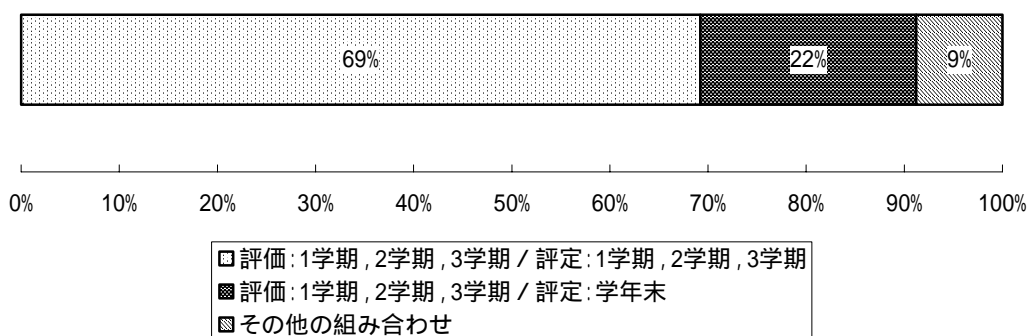
小学校第5学年の評定の表示では、数字で表す場合が最も多く54%である。次いで言葉で表す場合が21%である。アルファベットで表す場合は13%、記号で表す場合は5%となっている。

なお、数字で最も多いのが「3, 2, 1」の43%である。言葉では「たいへんよい, よい, がんばろう」「よい, ふつう, もう少し」がいずれも5%となっており、最も多い。アルファベットによるものはすべて「A, B, C」である。

また、評定の段階については、3段階のものが85%、5段階のものが10%である。

(4) 「観点別学習状況」及び「評定」の評価欄

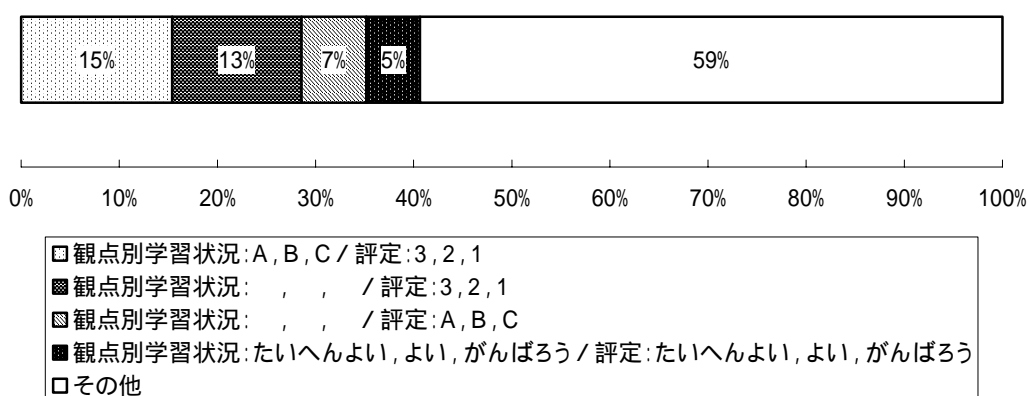
① 学期ごとの評価欄の有無



n=91

小学校第5学年の「各教科の学習の記録」欄において、「観点別学習状況」と「評定」の評価欄をともに1学期、2学期、3学期と設定している場合が最も多く69%である。「観点別学習状況」の評価欄を1学期、2学期、3学期、「評定」の評価欄を学年末のみに設定している場合は22%である。

② 評価の表示



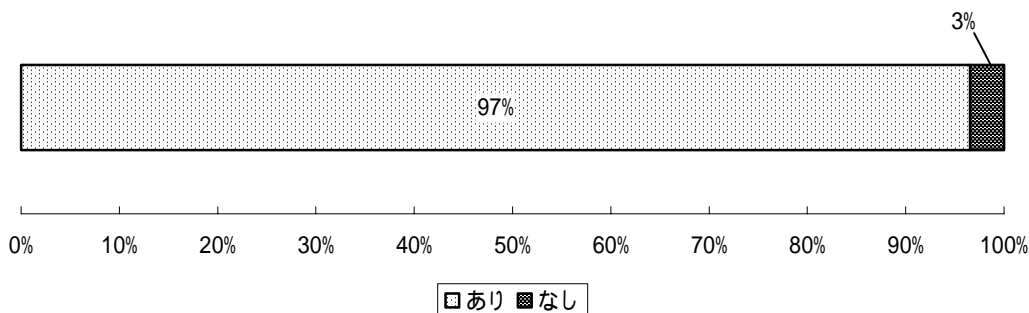
n=91

小学校第5学年の「観点別学習状況」及び「評定」の評価の表示で、最も多い組み合わせが「A, B, C」と「3, 2, 1」で15%、次いで組み合わせが「◎, ○, △」と「3, 2, 1」の13%である。

評価の段階については、「観点別学習状況」と「評定」がともに3段階のものが82%であり、3段階と5段階の組み合わせが7%、2段階と3段階の組み合わせが3%、2段階と5段階の組み合わせが2%となっている。

## 5 「総合的な学習の時間の記録」欄

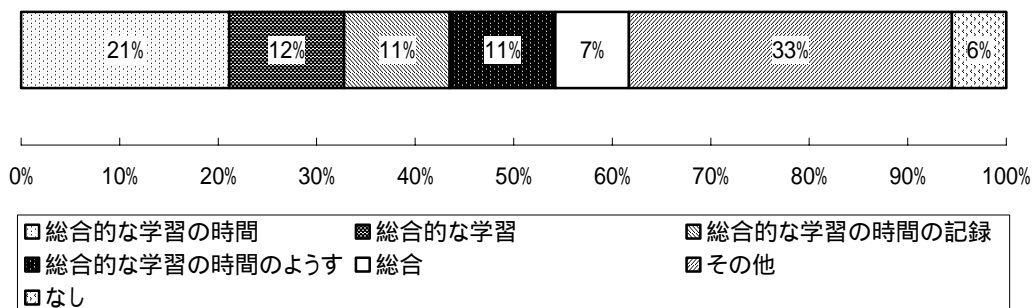
### (1) 欄の設定



n=319

「総合的な学習の時間の記録」欄を設定している通信簿は 97%であり、設定していない通信簿は 3%である。

### (2) 名称



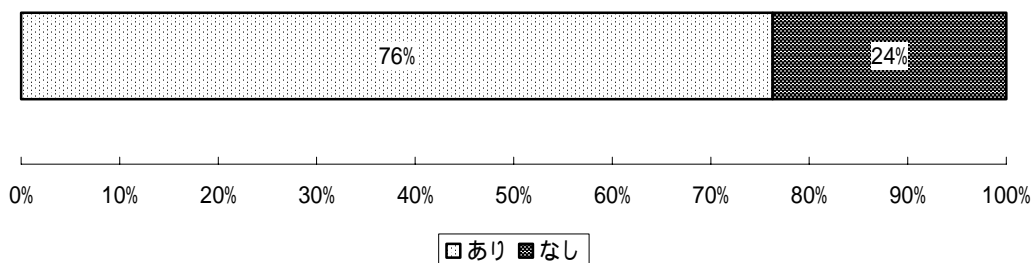
n=308

\*副タイトルは集計の対象にしない。

「総合的な学習の時間の記録」欄の名称では、「総合的な学習の時間」が最も多く 21%。次いで「総合的な学習」が 12%、「総合的な学習の時間の記録」と「総合的な学習の時間のように」がそれぞれ 11%、「総合」が 7%となっている。「その他」には「総合的な学習のようす」「総合的な学習の記録」「総合的な学習の時間について」などがある。

また、副タイトルも含めると、「チャレンジタイム」などのように「～タイム」とする名称や「～の時間」「～たんけん学習の様子」「～っ子学習」などの「～」の部分に地名や地域名、学校名を入れるなどして独自に名称をつくっているものが 14%ある。これらには「総合的な学習の時間」などのように「総合」という言葉を用いる名称と組み合わせている場合とそうでない場合がある。14%のうち、組み合わせている場合が 11%、そうでない場合が 3%である。

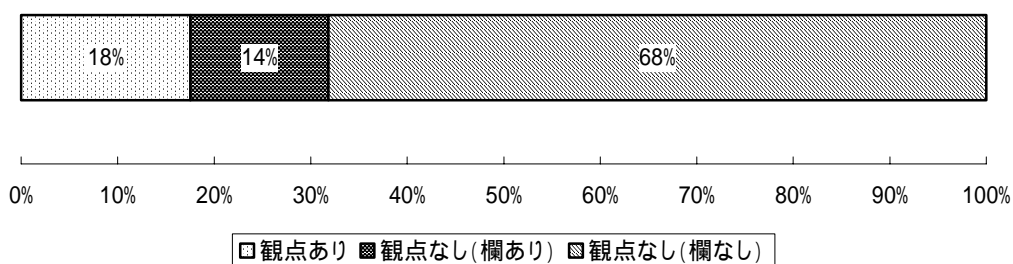
### (3) 学習活動の欄の有無



n=308

学習活動の内容を記載するための空白の欄，又は学習活動の内容を記載している欄を設定しているものは76%である。欄を設定していないものは24%である。

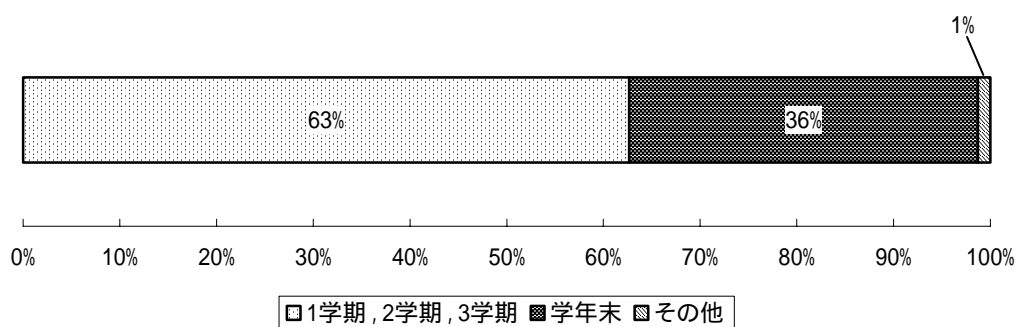
### (4) 観点の表示



n=308

「総合的な学習の時間の記録」欄の観点の有無及び観点を記載するための欄の有無について見てみると，観点及び観点を記載する欄がない場合は68%である。あらかじめ観点を記載している場合が18%，後から記載するようになっている場合が14%である。

(5) 学期ごとの評価欄の有無

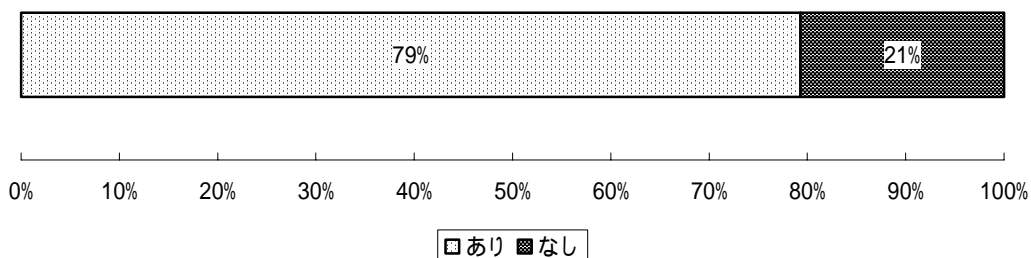


n=308

「総合的な学習の時間の記録」の評価欄を1学期, 2学期, 3学期と設定しているものは63%である。学年末にのみ設定している場合は36%である。「その他」は1学期(前期), 2学期(後期)とする場合などである。

## 6 「特別活動の記録」欄

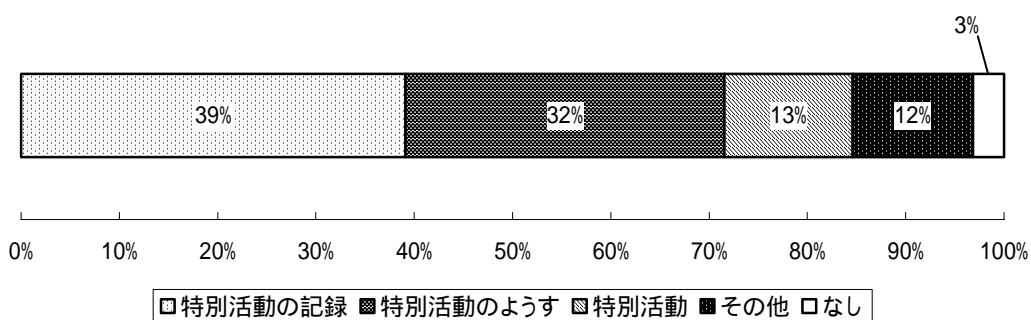
### (1) 欄の設定



n=319

「特別活動の記録」欄を設定している通信簿は79%である。設定していないものは21%である。

### (2) 名称



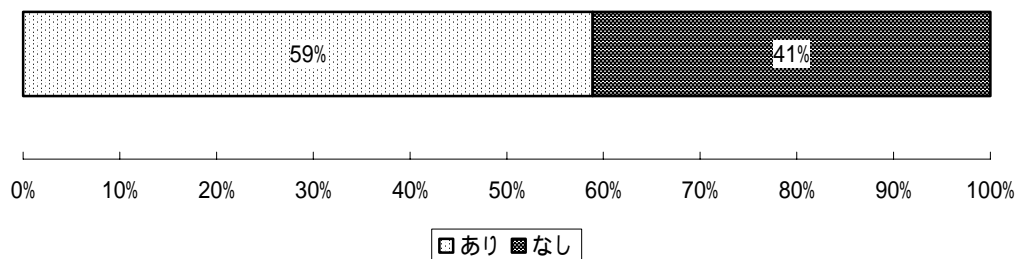
n=253

\*副タイトルは集計の対象にしない。

「特別活動の記録」欄の名称で最も多いのが「特別活動の記録」の39%であり、次いで「特別活動のようす」が32%、「特別活動」が13%となっている。

なお、「特別活動のようす（学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事）」などのように、副タイトルとして活動の内容を示しているものは11%である。

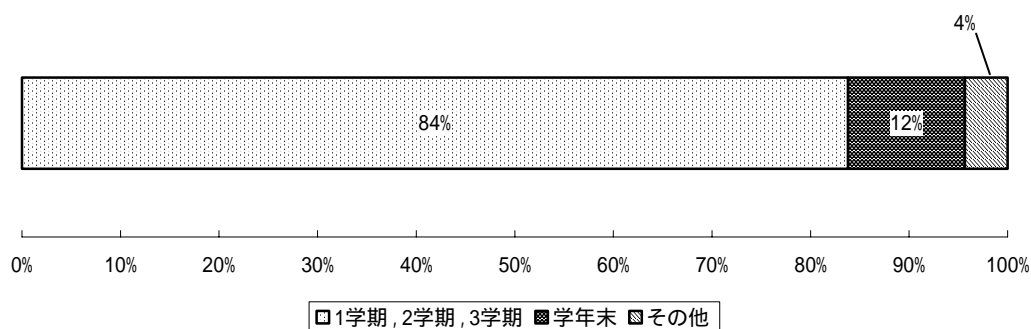
### (3) 内容の表示



n=253

「学級活動」「児童会活動」「クラブ活動」「学校行事」などのように、あらかじめ特別活動の内容を記載しているものは 59%ある。記入者が内容や評価などを記入するように設定しているものは 41%である。

### (4) 学期ごとの評価欄の有無

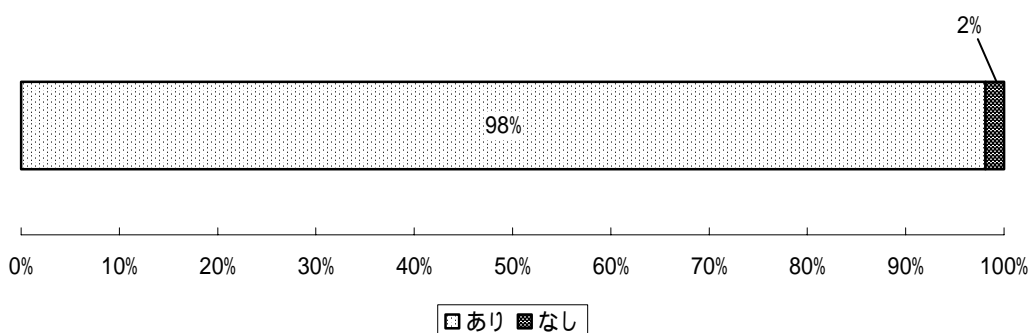


n=253

「特別活動の記録」の評価欄を 1 学期, 2 学期, 3 学期と設定しているものは 84%である。学年末にのみ設定している場合は 12%となっている。

## 7 「行動の記録」欄

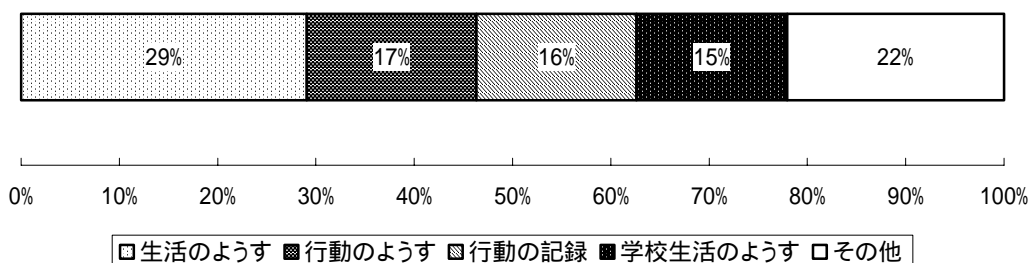
### (1) 欄の設定



n=319

「行動の記録」欄を設定している通信簿は **98%** であり，設定していないものはわずか **2%** である。

### (2) 名称



n=313

\*副タイトルは集計の対象にしない。  
\*ひらがなと漢字の表記の差異は区別しない。

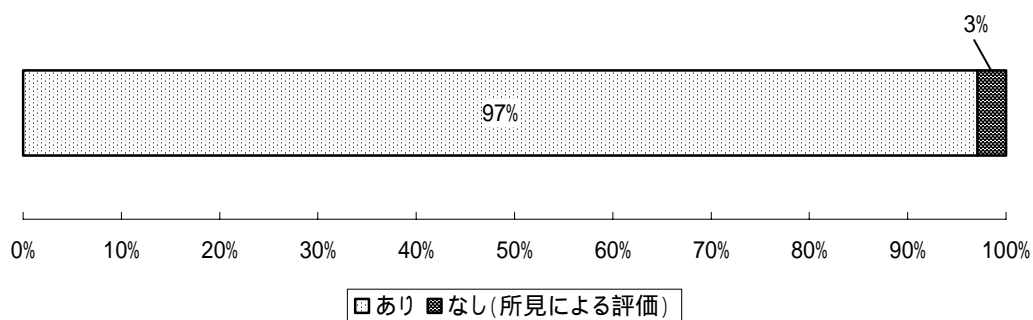
「行動の記録」欄の名称で最も多いのが「生活のようす」であり **29%**。次いで「行動のようす」「行動の記録」「学校生活のようす」の順に多い。「その他」には「生活の記録」「行動の状況」「くらしのようす」などがある。

なお，名称の末尾については，「生活のようす」や「行動のようす」のように「～のようす」とする名称が最も多く **69%** であり，次いで「～の記録」が **22%** となっている。その他には「～のめあて」「～のあらわれ」「～の状況」などがある。

また，副タイトルを含め，名称に「行動」という言葉を含むものは **58%**，「生活」という言葉を含むものは **41%** となっている。



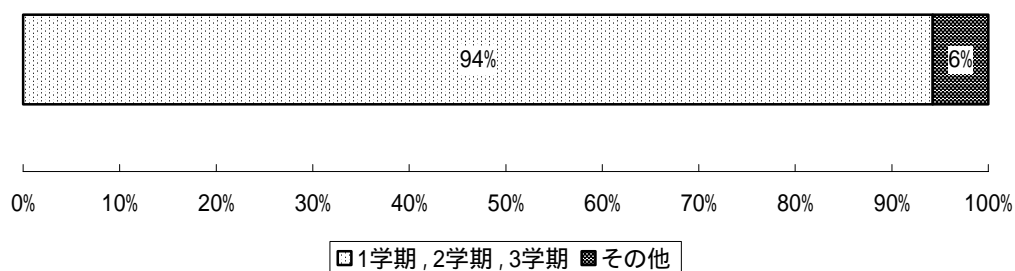
### (3) 評価項目の有無



n=313

「基本的な生活習慣」「健康・体力の向上」「自主・自律」「責任感」「創意工夫」などの「行動の記録」の評価項目を設定している通信簿は 97%である。評価項目を設定せずに所見で評価するものは 3%となっている。

### (4) 学期ごとの評価欄の有無

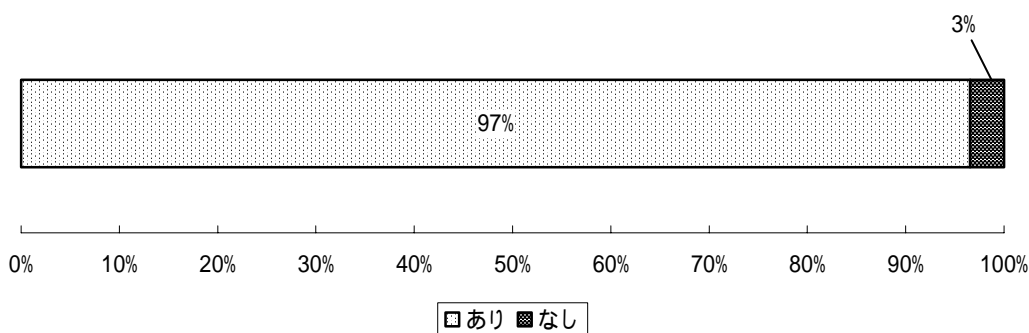


n=313

「行動の記録」の評価欄を 1 学期, 2 学期, 3 学期と設定している通信簿は 94%である。「その他」は 1 学期 (前期), 2 学期 (後期) とする場合などである。

## 8 所見・通信等の欄

### (1) 欄の設定

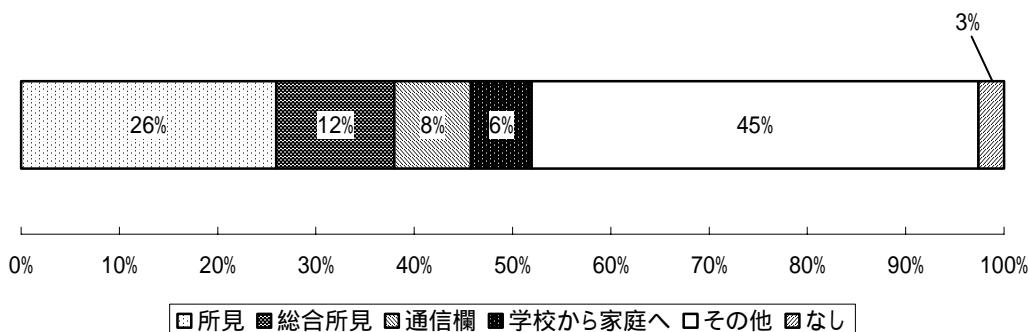


n=319

所見欄又は通信欄は、97%の通信簿に設定されている。

なお、ここでは所見欄と通信欄の区別は困難であるため、区別せずに集計している。また、所見欄と通信欄を別々に設定している通信簿はほとんどない。

### (2) 名称



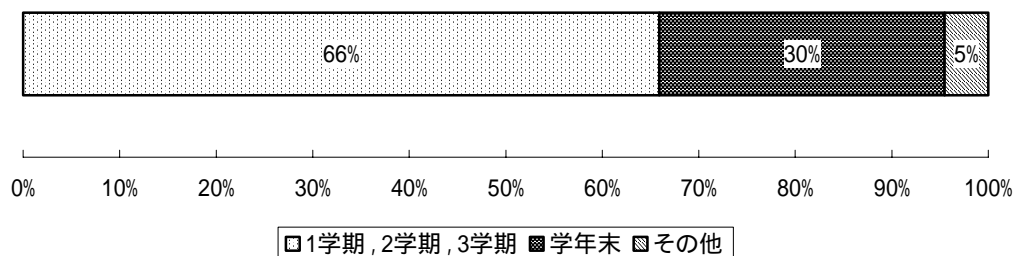
n=308

\*副タイトルは集計の対象にしない。

名称では、「所見」が最も多く26%、次いで「総合所見」が12%、「通信欄」が8%、「学校から家庭へ」が6%となっている。「その他」には「担任のことば」「はげましのことば」「気のついたこと」「一年をふりかえって」などがある。

なお、副タイトルも含めて記録欄の名称に「所見」を含むものは47%であり、「～のようす」となっているものは8%である。また、「通信」「連絡」という言葉や「～から」「～へ」という言葉を用いている名称は15%である。

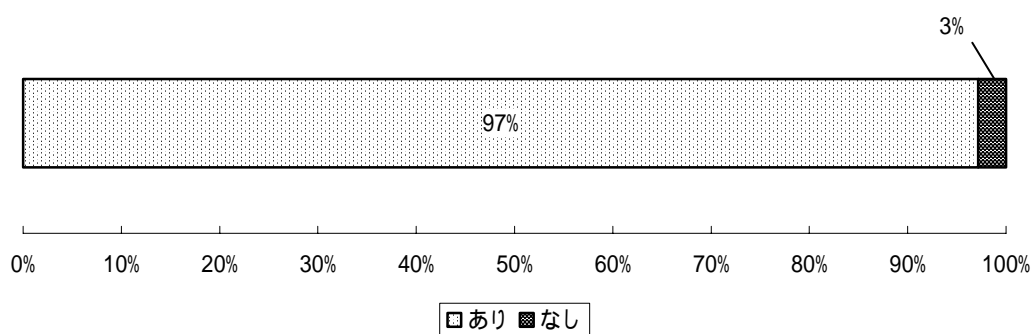
### (3) 学期ごとの記入欄の有無



n=308

所見欄又は通信欄の記入欄の設定で最も多いのが1学期, 2学期, 3学期と設定する場合で66%である。次いで学年末にのみ設定する場合は30%となっている。「その他」には1学期(前期)と2学期(後期)に設定する場合などがある。

## 9 「出欠の記録」欄

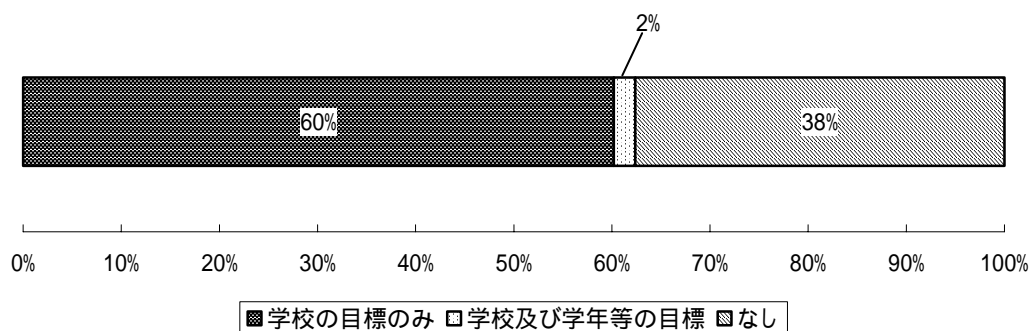


n=319

「出欠の記録」欄がある通信簿は97%であり, 設定していない通信簿は3%である。

## 10 その他

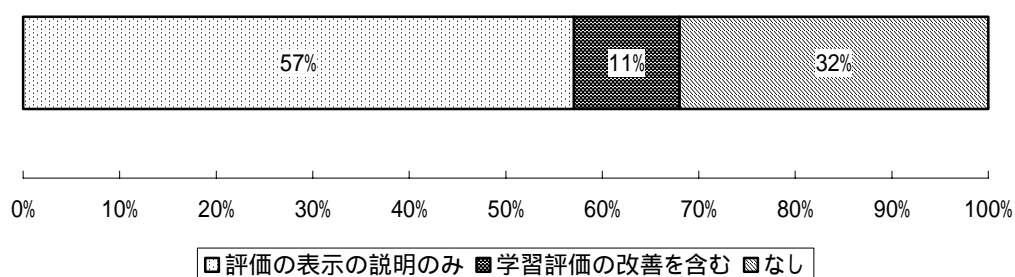
### (1) 教育目標



n=319

学校としての教育目標を記載している通信簿は 62%であり、このうち、各学年又は各学級の目標も記載しているものは 2%である。教育目標が記載されていないものは 38%となっている。

### (2) 通信簿の見方

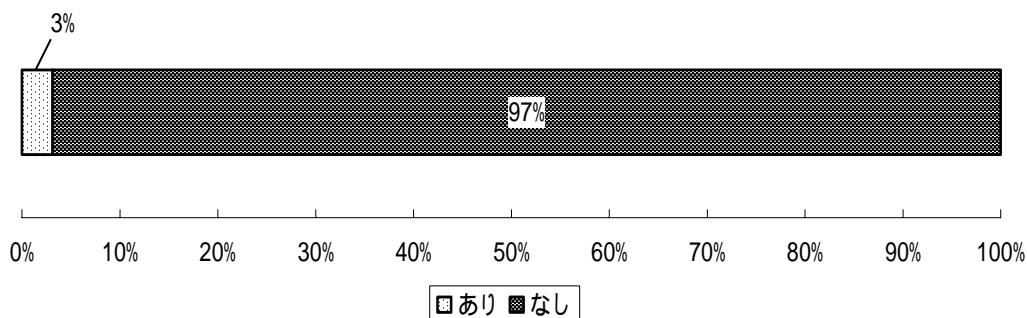


n=319

通信簿の見方について、「十分満足できると判断されるものを A、おおむね満足できると判断されるものを B、努力を要すると判断されるものを C とする」などのように、「観点別学習状況」や「評定」の評価の表示の仕方などについて説明しているものは 57%である。これに加え、評価を目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）で行うことを説明しているものは 11%である。

なお、目標に準拠した評価の説明を通信簿に直接記載していないが、配布プリントで説明している場合もある。ちなみに、通信簿の実態調査と同時に行ったアンケートによる学習評価の工夫改善に関する実態調査では、評価の仕方が変わったことについて説明文書を配布したと回答した小学校は 58%となっている。

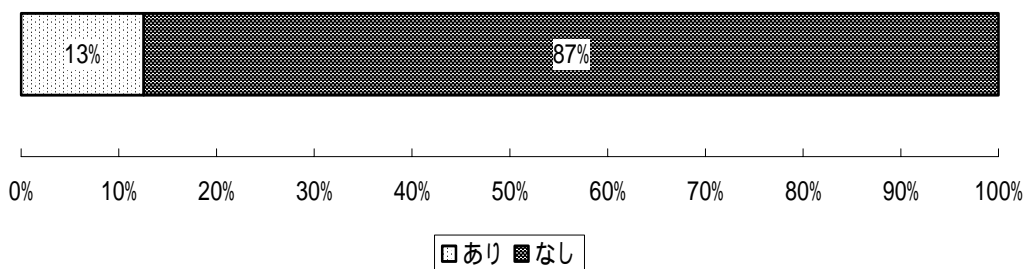
### (3) 児童の自己評価欄



n=319

児童の自己評価欄を設定している通信簿は3%である。97%の通信簿は設定していない。

### (4) 身体・健康に関する記録欄

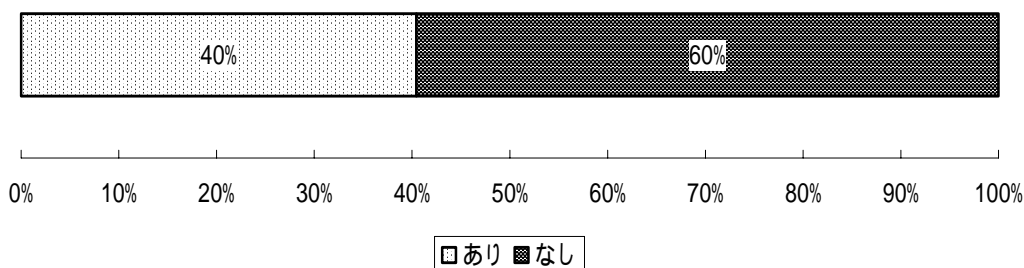


n=319

身体・健康に関する記録欄を設定している通信簿は13%であり、残りの87%は設定していない。

なお、学校保健法施行規則の規定により、同法に定める健康診断を行った場合には、21日以内に児童及びその保護者に通知することとされており、これに基づく通知は別途行われていると考えられる。

### (5) 保護者からの通信欄



n=319

保護者からの通信欄を設定している通信簿は40%であり、設定していないものは60%である。